

中野市行政改革推進委員会 会議録

日 時	平成31年 3 月26日 (火) 14 : 00～15 : 13
会 場	市役所本庁舎 会議室42.43
出席者	<p>【委員】 高木秀明、工藤二六子、黒崎春美、大塚一夫、東英司、池田眞貴子、 小林日出夫、市村義明、中村幹夫</p> <p>【市】 市長、副市長、総務部長、健康福祉部長、子ども部長、くらしと文化部長、経済部長、 建設水道部長、消防部長、豊田支所長、会計管理者、教育次長、議会事務局長</p> <p>【事務局】 行政管理係長、市川副主幹、伊東主事</p>
欠席者	【委員】野口暢子、富田貴江
次第	<p>1 開会 (13名中11名出席、過半数の出席者有りのため会議成立)</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 会議事項 (1) 第3次中野市行政改革集中改革プラン内容の変更及び追加について (2) 第3次中野市行政改革集中改革プラン(H31年度目標設定)について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
資料	<p>資料1 第3次中野市行政改革集中改革プランの内容の変更及び追加について</p> <p>資料2 中野市行政改革集中改革プラン進捗管理シート(平成31年度目標設定)</p> <p>資料3 中野市行政改革推進委員会条例、委員名簿</p> <p>追加資料 行政改革、その他市政運営に対する意見・提言等</p>

1 開会 （総務部長）

2 市長あいさつ

3 会議事項 （議長：高木会長）

- (1) 第3次中野市行政改革集中改革プラン内容の変更及び追加について
- (2) 第3次中野市行政改革集中改革プラン(H31年度目標設定)について

会議事項(1) 第3次中野市行政改革集中改革プラン内容の変更及び追加について
(第3次中野市行政改革大綱の一部改定について説明)

質問、意見等

【委員】

・豊田地区の施設など期間の変更で1年間延長している施設が多いが、1年間で完了できるのか。慌てないでじっくりやったほうが良いと思う。

【事務局】

・現在も取り組んでいる内容であり、平成31年度に完了できるよう進める。

【委員】

・市庁舎が新しくなって、職員同士が向き合っているため、カウンターを見ていない。職員を呼ぶためのベル等の設置はどうか。

【事務局】

・職員同士、来客に気付けるよう注意してまいりたい。

会議事項(2) 第3次中野市行政改革集中改革プラン(H31年度目標設定)について
補足説明： 行政改革、その他市政運営に対する意見・提言等に対する市の考え方

【委員】

・廃止5小学校の有効活用について、視点を変えて進めてもらいたい。他市町村では、思いもよらないような事業が行われている。いらぬからやめるのではなく、活用できる方法を考えてもらいたい。

・市民会館について、いつまでも調査研究と言っているのではなく、市民が意見を言える機会を作ってもらい、具体化して一歩でも進むようお願いしたい。

【くらしと文化部長】

・市民会館については、費用や運営内容などの調査をしているところです。財政的なこともあり、庁内で検討する会を設けて進めているところです。

【委員】

・廃止5小学校のことですが、民間に譲渡するという話になった場合、建物を使わな

くなった場合の解体費用が一番ネックになると思う。解体費用を市が確保しながら、民間に活用してもらうことはできないか。

- ・豊井小学校の南にある民俗資料館について、昔教員だった方が豊田地域の資料を見たいということで民俗資料館を観覧され、素晴らしいものが置いてあるが、活用されていないようでもったいないということをお話された。学校が廃校になり空いてくることであるし、子どもたちの勉強の教材としてどこかの学校に設置することはできないか。

【総務部長】

- ・市民の皆さんからのご意見も聞き、サウンディング型市場調査を実施し、民間企業から、採算がとれるかどうかや使い方について提案をしてもらうことを考えている。
- ・解体費用を用意し、後々に使えるようにということについては、基金を作って財源の確保をする方法のほか、解体費用に対して借金をして後で返す方法もある。どの手法をとったら市の財政に有利か、これから検討していく。

4 その他

今後のスケジュールについて

- ・行政改革集中改革プランの内容については、本日の意見を踏まえ、事務局で調整後、市公式ホームページで公表していく。
- ・次回の委員会は、集中改革プラン進捗管理シートの平成30年度実績報告の検証を7月に予定している。
- ・公共施設個別施設計画について、庁内で策定に向け作業中であり、内容については本委員会にもご意見をいただきながら進めたい。

【委員】

- ・職員、議員、一般市民との懇談会などが、昔はたくさんあったように感じる。新しい庁舎ができ、市民の声として、若い人では「市役所に行きやすくなった」という方もいるが、高齢者は「丸見えで相談に行きにくい」という声もある。
- ・車椅子の方への対応、行先に迷っている人への対応については、評価したい。
- ・職員は、一日中椅子の生活だが、休息をとる場所、横になれるところはあるか。車での通勤によって、帰り道にどこかによって行くなどできない。職員同士の交流もなく、ストレスが溜まっているのではないか。
- ・音声放送を使用し、童謡唱歌で時間をお知らせすること、大変うれしい。中野市には素晴らしい先生方、素晴らしい歌があるので、時間とともに知ることができ、評価したい。

【市長】

- ・市民の方との懇談会については、今までもお呼びいただいたときに出掛ける形はあったが、実施方法を見直し、更に市民と懇談できる機会を持つようにしたい。

- ・窓口対応について、新庁舎の執務室をこのレイアウトにしたのは、情報保護の観点からです。名簿や相談を受けている内容が出ているところに出入りができると、個人名等の情報が見えてしまうかもしれないということで、カウンター方式にした。来客に気付かないことがないよう、改めて職員にも徹底していきたい。
- ・職場環境については、ストレスが溜まらないように気を使っています。畳の部屋もあるため、大丈夫だと思っている。

【委員】

- ・空き家住宅について、現在の登録数はどのくらいか。不動産屋で紹介した場合に、細かな説明がない場合が多く、地域の瀬木さらい等の作業が負担で出て行ってしまいうことがある。

【経済部長】

- ・登録数は、そんなに多くない。不動産鑑定士の協力を得て、相談会を開催している。空き家を求めている方は多いが、物件がないことが多い。
- ・相談会の時には、実際に空き家に住まれている方も一緒に行っていただき、現状を話してもらえるのでとってもいい。登録数を増やせるようにしていきたい。

【委員】

- ・給食センターの民間委託について、利点は何か。
- ・同じ機械を使い、同じ材料を使って作業をするということだと、委託に出したことにより経費が掛かるようになるのではないか。
- ・2月5日の給食センター運営委員会で話があって、3月議会で決定ということで、市民や関係者への説明が足りなかったのではないかと思われる。今後、公共施設の検討をしていくにあたって丁寧な説明をお願いしたい。

【教育次長】

- ・教育委員会で、どんな業務がアウトソーシングに適しているのか、以前から検討していた。今年度は、学校の庁務員を業務委託している。この委託の流れの中で、学校の図書事務や市立図書館の窓口業務、給食の調理業務を実施していくということです。利点はすぐには見えないかもしれないが、民間の従業員になることによって、市では出来なかった専門的な研修を受けていただけるようになる。また、近い将来会計年度任用職員が始まるため、同一労働同一賃金、働き方改革により、責任を持って仕事に取り組んでいただくとともに、昇給、昇格もある。
- ・職員給与は、今までと同等であり、委託することにより消費税が掛かるなど、市の費用としては上乗せになる部分はある。長期にわたって見たときには、企業も経費削減できる部分はあるし、会計年度任用職員制度が始まることでの削減もあるため、財政的に大きく支出することはないと考えている。

【委員】

- ・アレルギーの子どもの対応等、間違いの無いように細心の注意を図るよう指導をしてもらいたい。

【教育次長】

・調理をする部門のみの委託であり、責任は市にある。子どもたちの安心安全については、これまでどおりです。

【市長】

- ・給食センターの民間委託についてですが、アレルギー対応は直営で行うなど、市で責任をもって行っていきます。
- ・2025年問題、2045年問題等と、今後ますます地域社会が激変していく中でも細心の注意を払って、組織の規模等々、施設の在り様についても、合意形成の中できちんと取り組んでまいりたい。これが次の世代に、中野市はそれでも元気だというような社会づくりのためにも、行政改革については着実に進みますことを申し上げ挨拶とします。今後とも、忌憚のないご意見をいただければと思います。

6 閉会 （高木会長）

終了 15時13分